

令和2年3月2日

飼い主の皆様へ

公益社団法人岡山県獣医師会

香港で新型コロナウイルス感染者の飼育犬から弱陽性反応が出た事例について

このことについて、公益社団法人日本獣医師会から別紙のような見解が示されましたのでお知らせします。

現時点では、マスクの装着や手洗いの励行などによる感染を防ぐ事が重要とのことです。よろしくお願ひします。

(公社) 岡山県獣医師会
住所 ; 岡山市北区下中野 350-103
電話 ; (086) 243-1879
担当 ; 常務理事 加藤信介

別紙

香港で新型コロナウイルス感染者の飼育犬から弱陽性反応が出た事例について

香港・漁農自然護理署は2月28日、新型コロナウイルス感染者の家庭で飼育されていた犬から同ウイルスの弱陽性反応が出たと発表しました。

しかし、日本獣医師会は、日本におけるペットの新型コロナウイルス感染は現時点では問題としないと考えます。

香港の例は、体にたまたま付着したウイルスの遺伝子をPCRで検出した可能性が考えられます。また、報告された事例は本件1例のみであり、犬にウイルスが感染し、犬の体内で増殖して排出されたと確認されてはいません。

むしろ本事例は、新型コロナウイルスが飼育者から犬に移行したものと考えるのが妥当であり、現時点では、飼育者がしっかりした感染防御の対応をとることが最も重要だと考えます。

公益社団法人 日本獣医師会